プルースホールダウン25／プルースホールダウン40　取扱説明書
（PRH-25）　（PRH-40）

※ご使用前に必ずお読みください。

用　途

■土台・基礎と柱の緊結、横架材と柱の緊結、上下階の柱相互の緊結に使用します。

ハウスプラス確認検査（株）性能試験

特　長

■本体・ビス・専用座金の全てにおいてクロムフリーを実現し、環境に配慮した製品となっております。
■アンカーボルトのクリアランスは、PRH-25で金物取付面から18.7mm～34.5mmまで、PRH-40で17.5mm～33.8mmまで対応しています。
■PRH-25はビス5本で25.3kNまで、PRH-40はビス10本で40.3kNまで対応できます。

告示 平12建告 第1460号 第2号	短期基準接合 引張耐力（P_0t）
プルースホールダウン 25	
[へ] [と] [ち] [り] 対応	25.3kN（10～25kN用）
プルースホールダウン 40	
[ぬ] 対応	40.3kN（25～40kN用）

※耐力37.0kN超から40.3kN以下は『高耐力フレックスアンカーボルト』または『高耐力フレックス両引きボルト』をご使用ください。

接 合 具

PRH-25	ビスYPR-85（グレー）×5本　専用座金×1枚
PRH-40	ビスYPR-85（グレー）×10本　専用座金×1枚

アンカーボルト・両引きボルトについて

※ホールダウン金物以上の耐力を有するアンカーボルトをご使用ください。また、運用耐力はホールダウン金物の耐力に準じます。
※耐力37.0kN超から40.3kN以下は『**高耐力フレックスアンカーボルト**』をご使用ください。
※37.0kN超の引抜きのかかる上下階の柱相互の緊結には、『**高耐力フレックス両引きボルト**』をご使用ください。

■コルトアンカーボルト

短期許容引張耐力：37.0kN※

※ 各種合成構造設計指針より算出。

上記耐力は下記の仕様条件において有効です。

埋め込み深さ（mm）	240以上※
コンクリート幅（mm）	135以上
コンクリート設計基準強度（N/mm²）	Fc=21 以上

※ アンカー笠下からの長さ

■高耐力フレックスアンカーボルト

短期許容引張耐力：60.0kN※

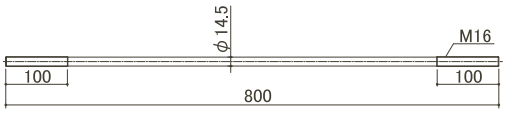
※ 各種合成構造設計指針より算出。

上記耐力は下記の仕様条件において有効です。

埋め込み深さ（mm）	300以上※
コンクリート幅（mm）	150以上
コンクリート設計基準強度（N/mm²）	Fc=21 以上

※ アンカー笠下からの長さ

■高耐力フレックス両引きボルト（PZ-FR16-80）



『コルトアンカーボルト』および『高耐力フレックスアンカーボルト』以外のZマークアンカーボルト（M16）等を使用の際のアンカーボルトの埋め込み長さは、付着強度を確保するため、下記の通りになります。

Zマークアンカーボルト（M16）等の埋め込み長さ対応表

型番	短期基準 引張耐力	アンカーボルトの 埋め込み長さ
PRH-25	10.0kN	360mm以上
	15.0kN	
	20.0kN	
	25.0kN	
	25.3kN	510mm以上
PRH-40	30.0kN	
	35.0kN	
	37.0kN	527mm以上＊

＊ 上記の埋め込み長さは建築基準法施行令第91条1項の短期許容応力度（付着）を用い引張耐力に必要な表面積より算出しています。
また、建築基準法施行令90条に基づきボルト鋼材の引張耐力を算出し確認しています。

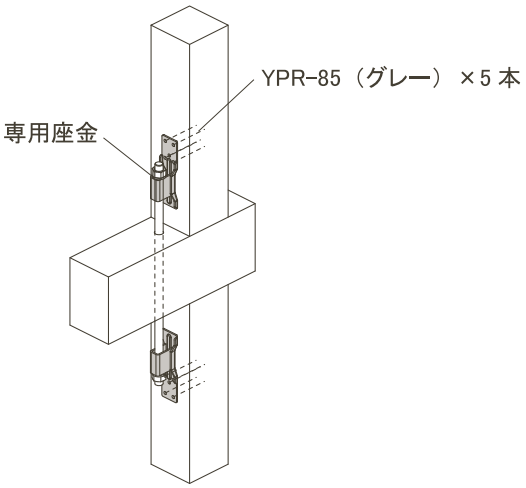
プルースホールダウン25／プルースホールダウン40　取扱説明書
（PRH-25）　（PRH-40）

※ご使用前に必ずお読みください。

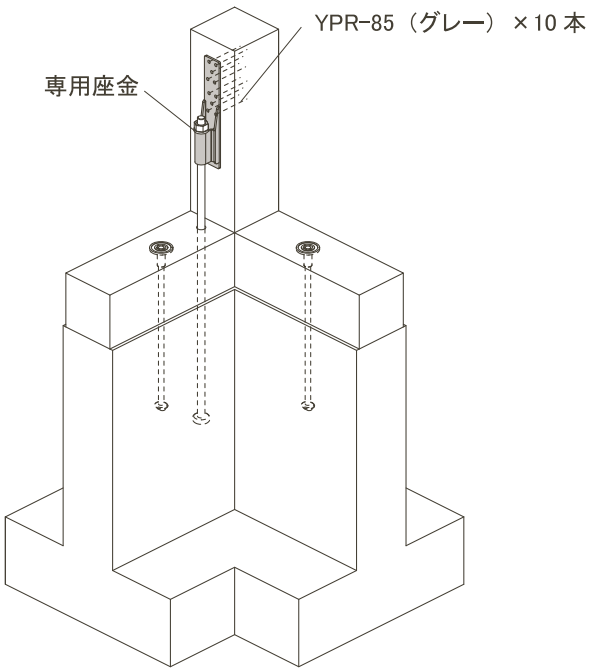
施工方法

①土台部のアンカーボルト（M16）や上下階の両引きボルト（M16）等に本体を通します。
②付属のビスで本体を柱に取付けます。
③付属の専用座金を入れ、ナットで締付けます。

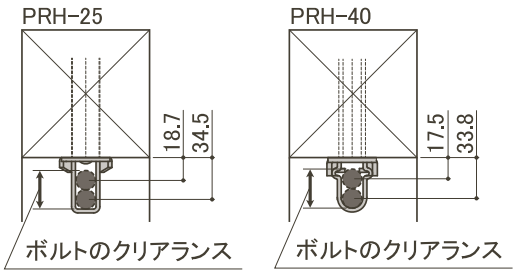
●PRH-25 の取付例



●PRH-40 の取付例



●ボルトのクリアランス



注意事項

■ 必ず付属の専用ビス、専用座金で接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
※締めすぎに注意!!　ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク（ねじ込み）を加えないでください。
■ ビス接合用の四角ビット（#3）は別売品です。
■ 本製品以上の耐力を有するアンカーボルトをご使用ください。また、運用耐力は本製品の耐力に準じます。
■ 耐力37.0kN超から40.3kN以下は『**高耐力フレックスアンカーボルト**』をご使用ください。
■ 37.0kN超の引抜きのかかる上下階の柱相互の緊結には『高耐力フレックス両引きボルト』をご使用ください。
■ 『**高耐力フレックスアンカーボルト**』および『**高耐力フレックス両引きボルト**』を使用する場合、ナットは必ずアンカーボルトおよび両引きボルトに付属されている**8Tナット**をご使用ください。
■ ケガに注意!!　手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
■ ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
■ 金物は所定の位置に取り付けてください。
■ 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
■ 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
■ 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
■ 目的用途以外には使用しないでください。

KANESHIN 株式会社カネシン

本　　社 ／ 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸4-19-12
Tel. 03-3696-6781　Fax. 03-3696-6770

技術的なご相談は　カネシンCSセンター
Tel. 03-5671-1077

K20151008A